

講師 サッカー解説者  
金田 喜稔氏  
演題 「スポーツと人生」



金田 喜稔氏

## 金田氏の講演要旨

中大OBでサッカー解説者の金田喜稔氏は、「スポーツと人生」と題して講演した。

金田氏は、自らの原点を「サッカー日本代表に選ばれ、初めてタイのバンコックに遠征したユース大会での経験だった」と振り返りながら、世界の子供たちが目を輝かせるサッカーの魅力と可能性について熱い思いを語った。

金田氏は中大1年の時に初めて日の丸をつけて海外の試合に臨んだ。予選リーグで他のチームが試合を操作、ほぼ手中にしていた決勝トーナメント進出を阻まれた苦い経験を持つ。「こんなスポーツもうやめた」と一度覚悟を決めた金田氏だったが、「そのいやな気持ちを洗い流してくれたのがフェアプレーを称える温かい拍手だった」という。「帰国するためホテルのレストランに集合した際、あちこちのテーブルから思いがけない拍手をいただいた。私たちのフェアプレーを称えるものだった。逆に感動をもらった。サッカーっていいスポーツなんだな」と。もっと続けようと思ったのが28年前のこの時であり、私のサッカー人生の原点となった」と述べた。

解説者の傍ら、子供たちの男女サッカーチーム総監督を務めるなど競技の底辺拡大に力を注ぐ金田氏は、「ピースポートと組んで各国の港を訪れ、世界の子供たちと交流も行っている。一緒にボールをけるだけで心は通ずる。そ

れがサッカーの魅力」としたうえで、「身なりや肩書き抜きで、だれとでも接することができるような、潔い人間を育てていきたい。スポーツマンシップで心が通じ合えば、世界のいざごは少なくなるはず。それは素晴らしいこと」と強調した。

また、日本の子供たちについて、「集団では積極的にできるのに、個人では絶対に手を上げない。これはチャレンジしない環境に慣れているためだ。模範となる大人の責任」と指摘。明日に向けて「チームの募集では実技だけでなく一分間スピーチさせ選考している」ことなどを紹介した。

